



監査の結果について

地方自治法(昭和22年法律第67号)第199条第4項の規定による監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を次のとおり公表する。

令和3年10月28日

赤穂市監査委員 寺田 榮 治
同 西川 浩 司

記

- 1 監査の種類 令和3年度定期監査
- 2 監査の対象 建設部
- 3 監査の期間 令和3年8月25日から令和3年10月27日まで
- 4 監査の範囲 令和2年度及び令和3年度の事務事業
- 5 主な着眼点 事務事業の有効性、効率性、経済性、合規性等
- 6 監査の方法 赤穂市監査基準(令和2年監査委員規程第1号)に基づき、財務に関する事務の執行状況について、事前に監査資料の提出を求め関係書類等を審査し、かつ、関係職員からその執行状況の説明を聴取し質問を加える等の方法により、監査を実施した。
- 7 監査の結果 監査の結果は、おおむね適正と認められたが、特に意見として以下の通り記述する。監査の執行の際見受けられた事務処理上留意すべき軽微な事項は、予備監査において関係職員に対して口頭で改善を促している。
今後とも、所管する業務に対する認識を深められ、効率的な事業運営に継続的に取り組まれることを要望する。

個別事項

1 土木課

(意見)

業務委託における設計内容の精査について

業務委託について、当初設計での現場の状況把握が不十分であることにより契約変更が行われていると考えられるものが見受けられた。契約締結後、安易に設計変更を行うのではなく、仕様書の作成や設計金額の算出等精査を行い、当初設計の精度を高めるよう要望する。

2 公園街路課

おおむね適正であると認められた。

3 区画整理課

(意見)

文書の保管管理について

業者から提出された一部不備がある文書について、口頭で確認後、手書きで修正して受理していたものが見受けられた。正確な記録を保管するよう文書の厳正な管理に努められたい。

4 都市計画課

(意見)

契約の透明性、公平性の確保について

入札、契約の手続き過程で疑義が生じることの無いよう、適切な運用を行い公平性、透明性、競争性の向上を図られたい。